

28年3月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年3月1日～ 28年3月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
入荷動向	スギ	△ 33.3	△ 20.0	20.0
	ヒノキ	25.0	0.0	0.0
	カラマツ	33.3	0.0	0.0
	トドマツ	66.7	△ 33.3	33.3
消費動向	スギ	16.7	0.0	△ 20.0
	ヒノキ	25.0	0.0	△ 25.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	33.3	0.0
在庫動向	スギ	△ 16.7	0.0	50.0
	ヒノキ	20.0	25.0	25.0
	カラマツ	33.3	0.0	0.0
	トドマツ	33.3	△ 66.7	0.0

・スギ原木の入荷は3月、4月の減少が、5月は増加。ヒノキ及びカラマツの入荷は3月の増加が、4月、5月は横ばい。トドマツは3月の増加が、4月は減少、5月に再び増加。

・スギ及びヒノキの原木の消費は3月の増加が、4月は横ばい、5月は減少。カラマツは3ヵ月連続して横ばい。トドマツは3月の横ばいが、4月は増加し、5月は横ばいに。

・スギ原木の在庫は3月の減少が、4月は横ばい、5月は増加。ヒノキは3ヵ月連続して増加。カラマツは3月の増加が、4月、5月は横ばい。トドマツは3月の増加が、4月は減少、5月は横ばい。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
スギ	0.0	20.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	16.7	40.0	20.0
米マツ	0.0	0.0	0.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ原木価格は3月の横ばいが、4月は強含みで、5月は横ばい。ヒノキは3ヵ月連続して横ばい。カラマツは強含みで推移。

・米マツ、北洋カラマツ及びその他は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

・入荷の遅れもなくほぼ横ばい。消費は生産品目の増減はあるが、全体生産量が変わらないため横ばい。在庫は横ばい。
・カラマツ以外は入荷順調。生産上向き。
・決算期が近づいているため、入荷は抑制する見通し。フル生産が続くと思われるので、原木消費に大きな変化はない見通し。決算期に向け企業方針で在庫は減少。
・カラマツのみ入荷増。消費は1月以降減少。カラマツのみ入荷増に伴い在庫も増加。
・管内搬出量の低迷により特にスギ材の入荷が激減、他製材工場の稼働が本格化しスギ材不足状態。スギ材の入荷減により在庫減少、3月下旬以降の搬出量に期待。
・去年の11月からスギ入荷は順調、ヒノキも2月より価格を上げ入荷を増やす。消費は3月～4月はほぼ横ばい、5月は減る。消費以上に入荷が多いため在庫は増えている。3月以降も増えるであろう。

(原木価格)

・スギ横ばい。カラマツ高値安定で横ばい。
・カラマツが上昇傾向(取り合い)。
・一部樹種に強含みあり。
・国産材は横ばい。外材は為替の動きが読みづらいが、米マツは底打ちすると予想。ロシア材は、春以降に価格軟化する見通し。
・3月末まで横ばい、4月以降樹種により変動が見られる。
・市場価格は今後、下がってくると思われる。入荷が順調だけに購入価格も下げたい所だが。

28年3月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
生産動向	構造用(9mm)	16.7	0.0	0.0
	〃 (12mm)	28.6	0.0	0.0
	〃 (15mm)	14.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	28.6	0.0	0.0
	〃 (28mm)	14.3	0.0	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	20.0
	〃 (12mm)	0.0	0.0	16.7
	〃 (15mm)	0.0	0.0	16.7
	〃 (24mm)	14.3	0.0	16.7
	〃 (28mm)	△ 14.3	0.0	16.7
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	△ 16.7	0.0	0.0
	〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

・合板の生産は全品目で3月の増加が、4月、5月は横ばい。

・合板の出荷は9mm, 12mm, 15mmは3月、4月の横ばいが、5月は増加。24mmは3月の増加が、4月は横ばい、5月は再び増加。28mmは3月の減少が、4月は横ばい、5月は増加。

・合板の在庫は、9mm, 12mm, 15mm, 28mmは3ヵ月連続して横ばい。24mmは3月の減少が、4月、5月は横ばい。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
構造用(9mm)	0.0	0.0	20.0
〃 (12mm)	0.0	0.0	16.7
〃 (15mm)	0.0	0.0	16.7
〃 (24mm)	0.0	0.0	16.7
〃 (28mm)	0.0	0.0	16.7

・合板の出荷価格は全品目とも3月、4月の横ばいが、5月は強含みに。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・12mmの受注残が多いため、24mmを減らして生産。客先3月決算により、在庫を整理するため新規発注は減る。プレカット工場の稼働率が悪くなっている。もともと9mm、15mm生産が少なく増減なし。12mm、24mm、28mmは新規受注が少なく、在庫は若干増える。
- ・24mmは動きは良く、生産増加。
- ・まだ若干不足気味のアイテムを生産増へ。5月連休明けより忙しくなりそう。在庫は6月前後より減少か。
- ・少量生産につき変化なし。
- ・生産計画以上の出荷、全体的に増加傾向にあるが特に厚物が増加。在庫は全品種減少、当月より増産対応図る。
- ・ルート of 仮需も少しずつ落ち着きを見せており、荷動きも徐々に鈍くなると思われる。在庫は徐々に微増していく。

(合板価格)

- ・全品目横ばい。
- ・ゆるやかに上昇。
- ・落ち着いている。
- ・品薄感があるも、極端な上昇は見られない。
- ・安定的な出荷を図りながら、今後の価格上昇に期待。